

2017年3月卒業予定者の

就職活動に関する 学生調査

2016年
7月1日状況

内定獲得率 **72.4%**

選考解禁1カ月経過時点で


全体の49.2%が「活動終了」




アイテム 人と仕事研究所

WEBサイトでは、採用活動の
ヒントとなる情報を発信して
います

<https://apj.aidem.co.jp/>

人と仕事 

 「就職活動に関する学生調査」
「新卒採用に関する企業調査」
学生と企業の「今」がわかります

株式会社アイテム
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10
アイテム本社ビル

お問い合わせ
▶ 広報担当 / 望月・栗木 ▶ 調査担当 / 岸川・菊地
☎ 03-5269-8780 ✉ kouhousitu@aidem.co.jp

結 果 概 要

2017 就職活動に関する学生調査
(2016年7月1日状況)

進捗状況

▶現在のステータス

【主な活動】

「面接・試験段階」	20.3%
「内定獲得／就活継続段階」	22.5%
「内定獲得／就活終了段階」	49.2%

(前月比+30.8ポイント)

【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「面接・試験段階」	93.4%
-----------	-------

(前月比+1.8ポイント)

「内定獲得段階」	72.4%
----------	-------

(前月比+24.5ポイント)

▶内定獲得社数

平均2.3社 (前月比+0.5社)
内定獲得者の58.6%が“2社以上”の内定を獲得

▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」は1.9時間で、
前回調査(6月1日時点:3.6時間)から1.7時間の減少
「学業に費やす時間」は3.6時間で、
前回調査(6月1日時点:3.3時間)から0.3時間の増加

▶面接選考企業数

「10~19社」…… 35.1% 「5~9社」…… 24.7%
平均11.6社 前回調査(6月1日時点:8.6社)から3.0社の増加

▶現在選考中の企業数

「1~2社」…… 40.4% 「3~4社」…… 24.4%
「5~9社」…… 16.3%
平均3.1社 前回調査(6月1日時点:5.3社)から2.2社の減少

▶会社説明会の欠席経験

「ある」…… 58.2%
理由は、
「志望度が高くなかった」…… 45.2%
「就職活動の他の予定と重なった」…… 43.2%
「行くのが面倒に」…… 40.4%

▶就職活動の進捗感

「予定よりも進んでいる」	32.2%
「予定通り」	24.4%
「予定よりも進んでいない」	43.4%

「内定なし」学生の83.1%は「予定よりも進んでいない」
「予定よりも進んでいない」原因は、「準備が不十分だった」62.7%
具体的には、「個人面接受策」「自己分析」「企業・業界研究」
で準備不足

今後の就職活動予定

▶企業への新たな応募予定がある学生

68.1%
6月15日調査からほぼ横ばい

▶今まで興味がなかった“業界”や“職種”への応募を 考えている学生

【業界】55.8%
【職種】42.9%
6月1日時点で初めて増加に転じたが、再び減少傾向に

▶今後の応募にあたって妥協・譲歩する条件

「勤務地」…… 42.4% 「企業規模」…… 39.8%
「給与額」…… 36.8%
男性や大企業志向者の5割以上は「企業規模」を妥協

▶就職活動の終了見込み時期

「7月末頃まで」…… 37.2% 「8月末頃まで」…… 25.9%
「内定あり」学生の52.8%が、「7月末頃まで」に終えたい意向

内定企業・入社予定企業について

▶内定辞退の状況

「入社予定企業の内定のみを残し、他はすべて辞退した」
69.4%

▶入社予定企業を選んだ決め手

「会社の雰囲気」…… 41.9%
「採用担当者や社員の人柄」…… 35.3%
大手企業に入社予定の学生は、中小企業に入社予定の学生
よりも「企業の安定性」「給与」「知名度」が決め手になる傾向

●	調査概要	p. 4
1	就職活動の進捗状況	p. 5
2	内定獲得状況	p. 7
3	企業規模に対する志向	p. 8
4	1日の活動時間	p. 9
5	会社説明会参加回数	p.10
6	会社説明会の欠席	p.11
7	応募企業数	p.12
8	エントリーシート・履歴書提出企業数	p.13
9	面接選考企業数	p.14
10	現在選考中の企業数	p.16
11	志望業界・入社予定企業の業界	p.17
12	志望職種・入社予定企業の職種	p.18
13	企業への新たな応募予定(7月)	p.19
14	妥協・譲歩する条件	p.20
15	就職活動終了見込み時期	p.21
16	入社予定企業の従業員規模	p.22
17	内定辞退の状況	p.23
18	入社予定企業の決定理由	p.24
19	就職活動の進捗感	p.25
20	不十分だった準備	p.26

調査概要

調査目的 2016年7月1日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

調査対象 2017年3月卒業予定で、民間企業への就職を希望している大学4年生・大学院2年生の男女

調査方法 インターネット調査

調査期間 2016年7月1日～4日

有効回答 693名
「JOBBRASS 新卒」登録学生（363名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（330名）

※本調査は小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。
※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。

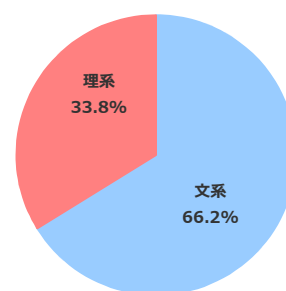
居住地域	回答数	(%)
北海道・東北地方	23	3.3
関東地方	275	39.7
北陸・甲信越地方	15	2.2
東海地方	44	6.3
近畿地方	275	39.7
山陰地方	22	3.2
四国地方	3	0.4
九州地方	36	5.2
合計	693	100.0

専攻	回答数	(%)
文系	508	73.3
理系	185	26.7
合計	693	100.0

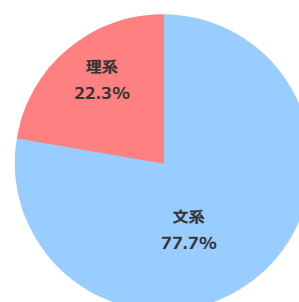
所属サークル	回答数	(%)
文化系	229	33.0
体育会系	157	22.7
イベント系	50	7.2
無所属	257	37.1
合計	693	100.0

性別	回答数	(%)
男性	263	38.0
女性	430	62.0
合計	693	100.0

男性



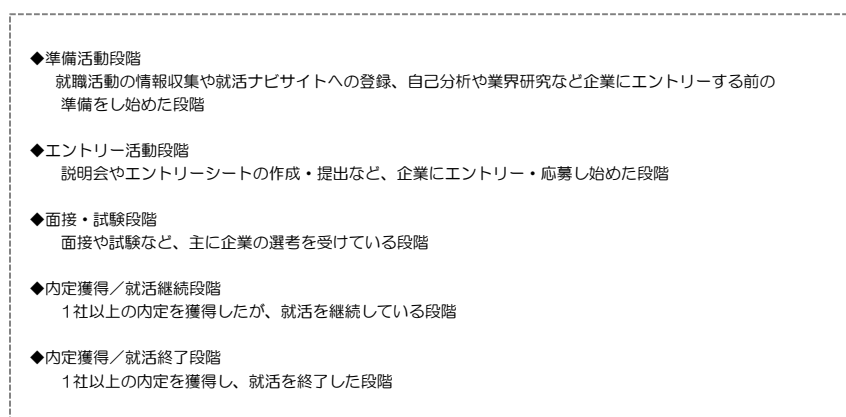
女性



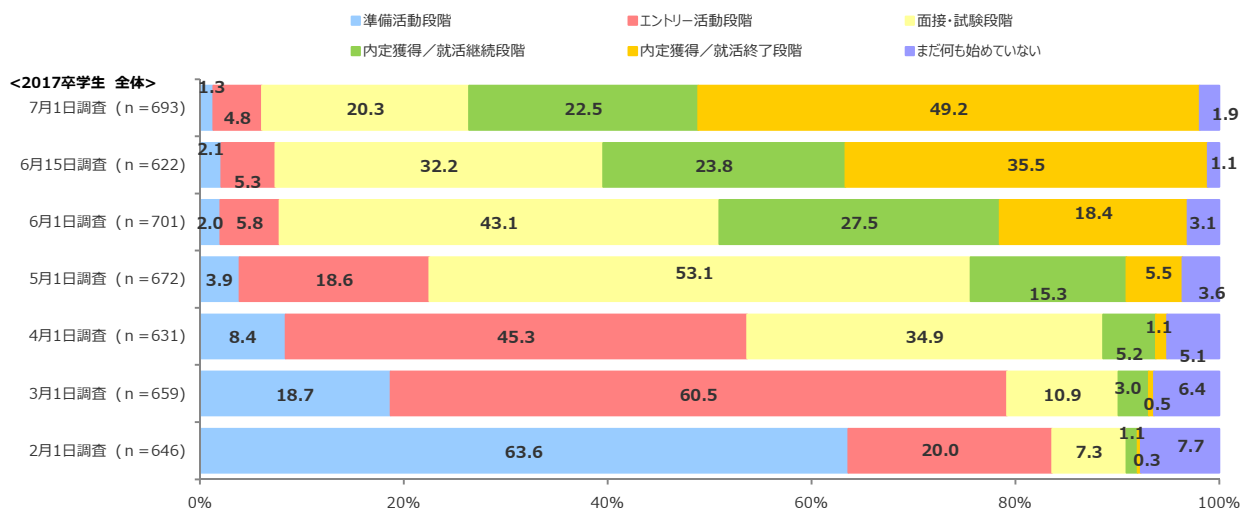
就職活動の進捗状況

学生に、2016年7月1日時点の就職活動において、“現在行なっている＜主な活動＞”を聞いた。約半数の49.2%が「内定獲得／就活終了段階」と回答しており、選考活動解禁1カ月で早くも活動が終了したようだ。就職活動を続けている学生も、「面接・試験段階」が20.3%、「内定獲得／就活継続段階」が22.5%と多くを占めており、最終局面に突入していることがうかがえる。（図1.1）。

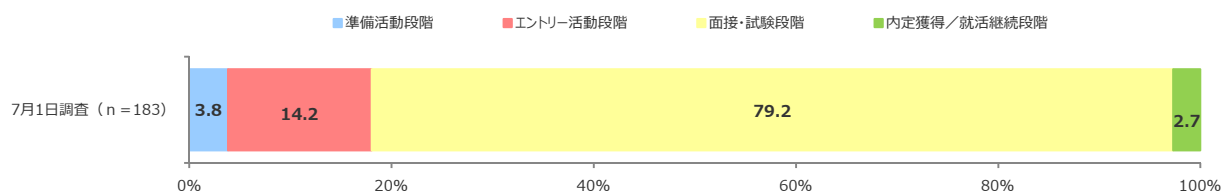
また、＜主な活動＞において、まだ「準備活動段階」「エントリー活動段階」「面接・試験段階」のいずれかのステータスに留まっている学生に、＜最も選考が進んでいる企業の状況＞を聞いた。79.2%が「面接・試験段階」に突入しているようだ（図1.2）。



【図1.1】現在の就職活動のステータス：＜主な活動＞



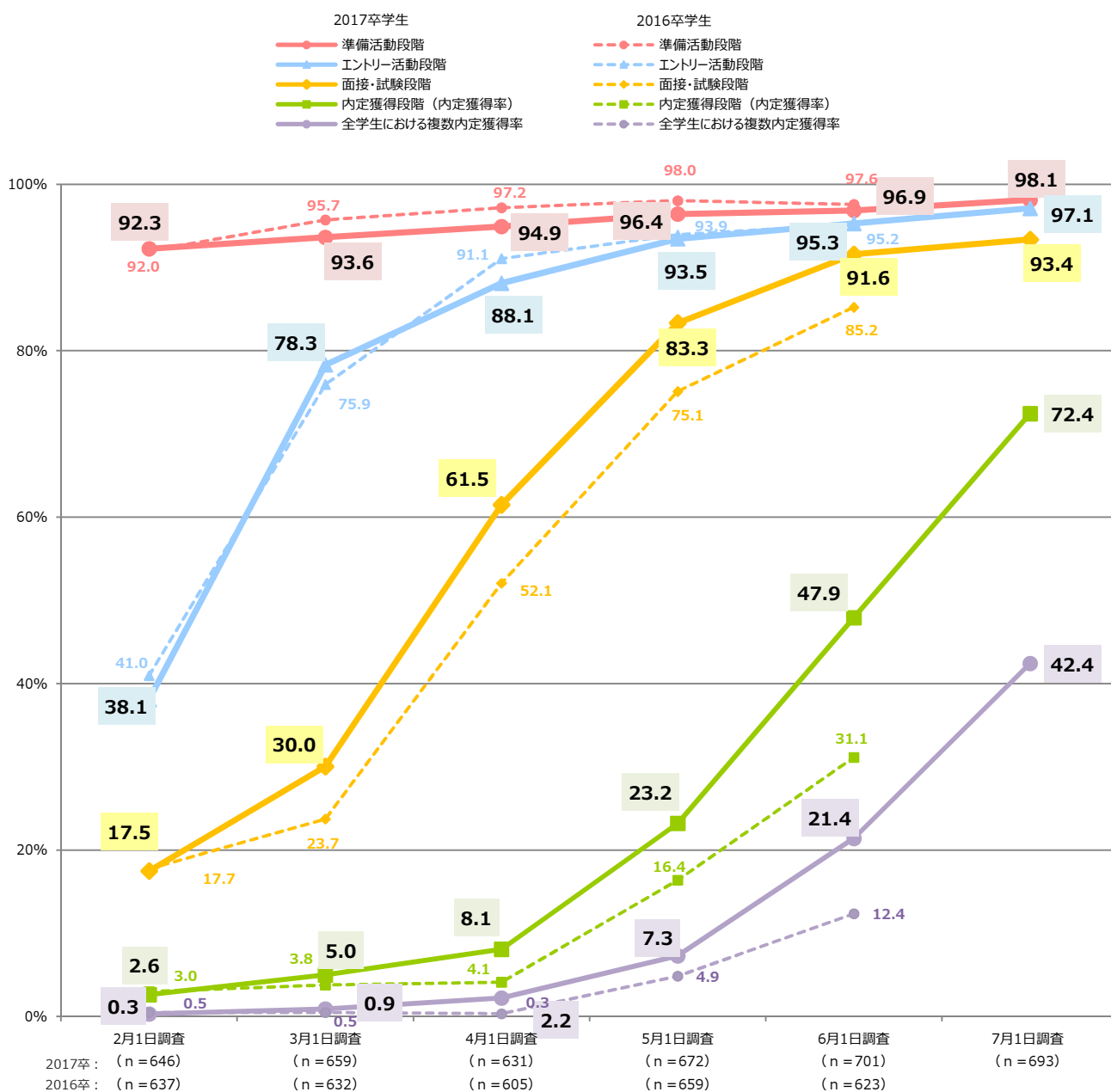
【図1.2】現在の就職活動のステータス：＜最も選考が進んでいる企業の状況＞



さらに、＜主な活動＞＜最も選考が進んでいる企業の状況＞を合わせて、実際にどのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。7月1日時点では、「準備活動段階」は98.1%、「エントリー活動段階」は97.1%、「面接・試験段階」は93.4%となっている。「内定獲得段階（“内定獲得／就活継続段階”と“内定獲得／就活終了段階”の計。以下“内定獲得率”）」は、72.4%となり、6月1日調査（「2017年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査 2016年6月1日状況」／以下同）から24.5ポイント増加した。「エントリー活動段階」は2月から3月にかけて、「面接・試験段階」は3月から5月にかけて、「内定獲得率」は5月以降に伸びている。

2016卒学生の進捗と比較すると、「準備活動段階」や「エントリー活動段階」はほぼ同様の推移となっている。選考活動の解禁時期が早まったせいか、「面接・試験段階」の進捗は2016卒学生よりも早い。また、内定獲得率も、前年より高い水準で推移しており、5月1日時点、6月1日時点では、前年のおよそ1.5倍となった。全学生に占める複数内定獲得者の割合（以下、全学生における複数内定獲得率）も、前年よりも高い。2017卒学生は、広報活動解禁から選考活動解禁までの期間が例年よりも短いにもかかわらず、多くの内定を獲得できているようだ（図1.3）。

【図1.3】各活動ステータスに到達した学生の割合



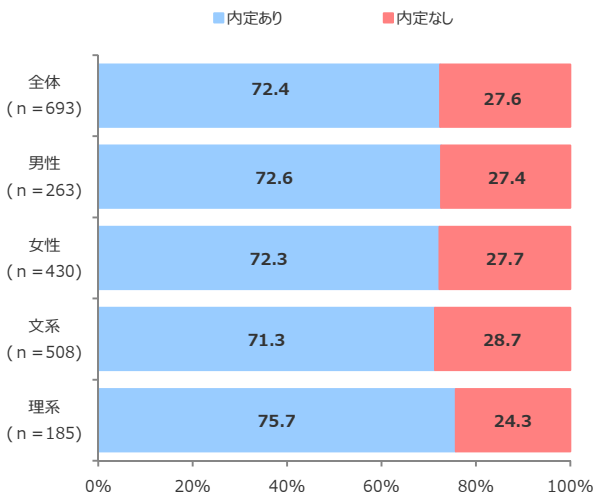
内定獲得状況

「図1.3 各活動ステータスに到達した学生の割合」から、学生の内定獲得状況の詳細を見た。全体では、「内定あり」72.4%、「内定なし」27.6%となった。男女別で大きな差はなく、文理別では理系の方が「内定あり」の学生の割合が若干高い（図2.1）。

内定を獲得した学生に、獲得社数を聞くと、平均は2.3社だった。「1社」41.4%、「2社」25.9%、「3社以上」32.7%となり、複数の内定を獲得している学生が58.6%に達している。属性別に見ると、男女別では男性の方が、企業規模に対する志向別では大企業志向の方が、内定獲得社数が多いようだ（表2）。

内定獲得率の推移を見ると、6月1日調査から24.5ポイントの増加となり、5月から毎月20ポイント以上の伸びとなっている。また、内定獲得者に占める複数内定獲得者の割合（以下、内定獲得者における複数内定獲得率）は6月1日から14.0ポイントの増加となった（図2.2）。

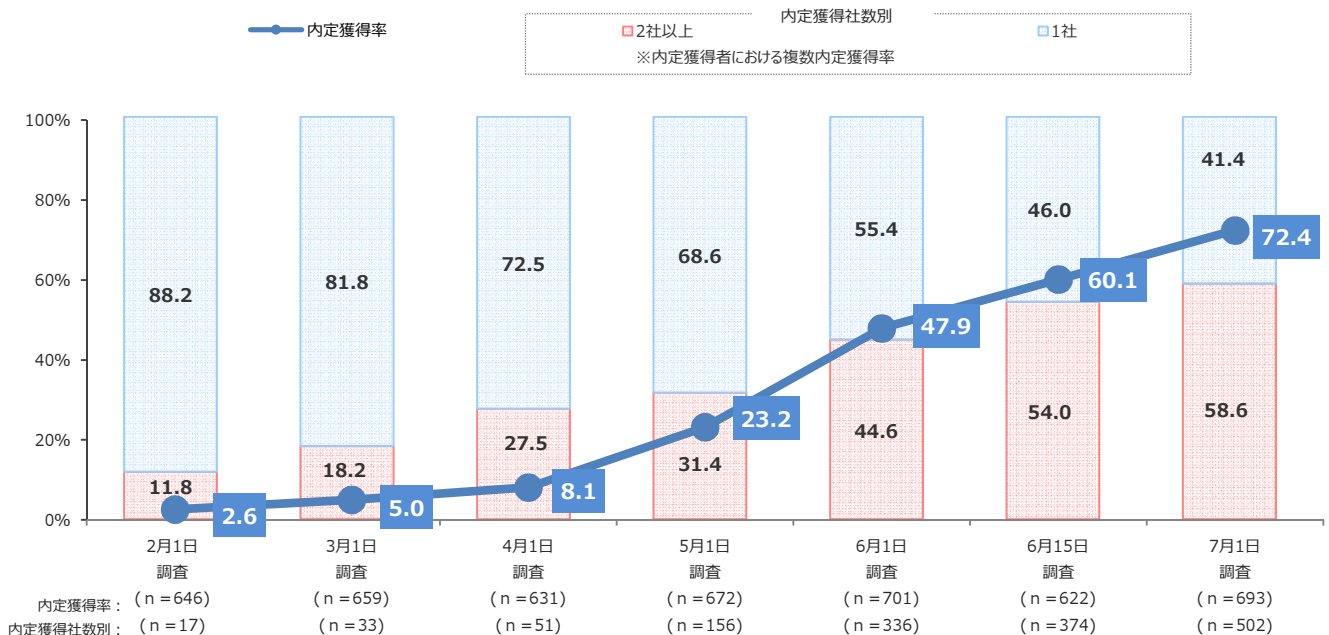
【図2.1】内定獲得状況：属性別



【表2】内定獲得社数：属性別

		1社 (%)	2社 (%)	3社以上 (%)	平均 (社)
全体 (n=502)		41.4	25.9	32.7	2.3
男女別	男性 (n=191)	40.3	25.7	34.0	2.6
	女性 (n=311)	42.1	26.0	31.8	2.2
文理別	文系 (n=362)	41.4	25.7	32.9	2.4
	理系 (n=140)	41.4	26.4	32.1	2.3
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=267)	34.5	27.7	37.8	2.5
	中小企業志向 (n=135)	48.9	26.7	24.4	2.2
	企業の規模は全く意識していない (n=100)	50.0	20.0	30.0	2.0

【図2.2】内定獲得状況：時系列



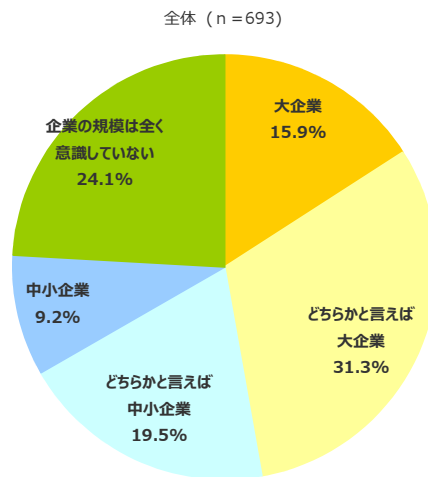
企業規模に対する志向

学生に、就職活動を行なうにあたり、大企業と中小企業のどちらを志望する気持ちが強いかを聞いた。7月1日時点では、「大企業」「どちらかと言えば大企業」を合わせた回答が47.2%に上った。「中小企業」「どちらかと言えば中小企業」と回答した学生は合わせて28.7%、「企業の規模は全く意識していない」学生は24.1%となった（図3.1）。

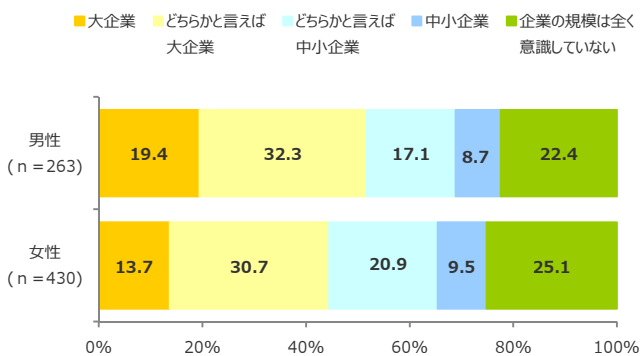
男女別で見ると、大企業志向の学生の割合は、男性で51.7%となり、女性の44.4%よりも高い。一方、女性は、中小企業志向の学生の割合が男性よりも高くなっている（図3.2）。

文理別で見ると、大企業志向の学生の割合は、文系で48.0%、理系で44.9%となった（図3.3）。

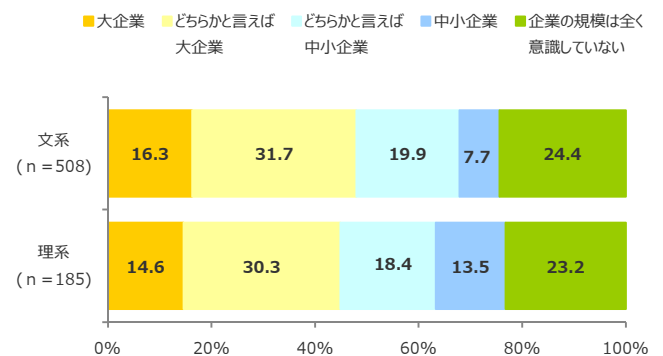
【図3.1】 企業規模に対する志向



【図3.2】 企業規模に対する志向：男女別



【図3.3】 企業規模に対する志向：文理別



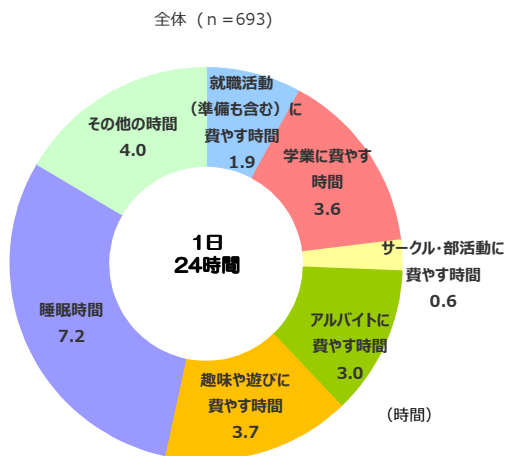
1日の活動時間

学生に、7月1日時点で、1日のうち「就職活動」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動」1.9時間、「学業」3.6時間、「サークル・部活動」0.6時間、「アルバイト」3.0時間、「趣味や遊び」3.7時間、「睡眠」7.2時間となった(図4.1)。

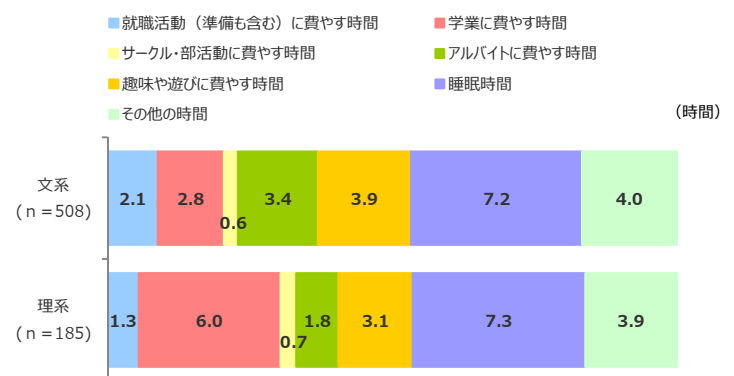
文理別に見ると、「学業」に費やす時間は、理系が6.0時間、文系が2.8時間と理系の方が大幅に多く、卒業に向けた研究・論文が本格化してきたことがうかがえる。一方、文系は、「アルバイト」に費やす時間が3.4時間、「趣味や遊び」に費やす時間が3.9時間と、それぞれ理系よりも多く、文理によって時間の使い方が異なっているようだ(図4.2)。

時系列で見ると、「就職活動」に費やす時間は、6月1日調査から1.7時間減少し、減少幅は2017卒学生対象の調査で最大となった。6月1日の選考活動解禁日から1ヵ月で、就職活動が収束に向かっていくことが改めてうかがえる結果となった(図4.3)。

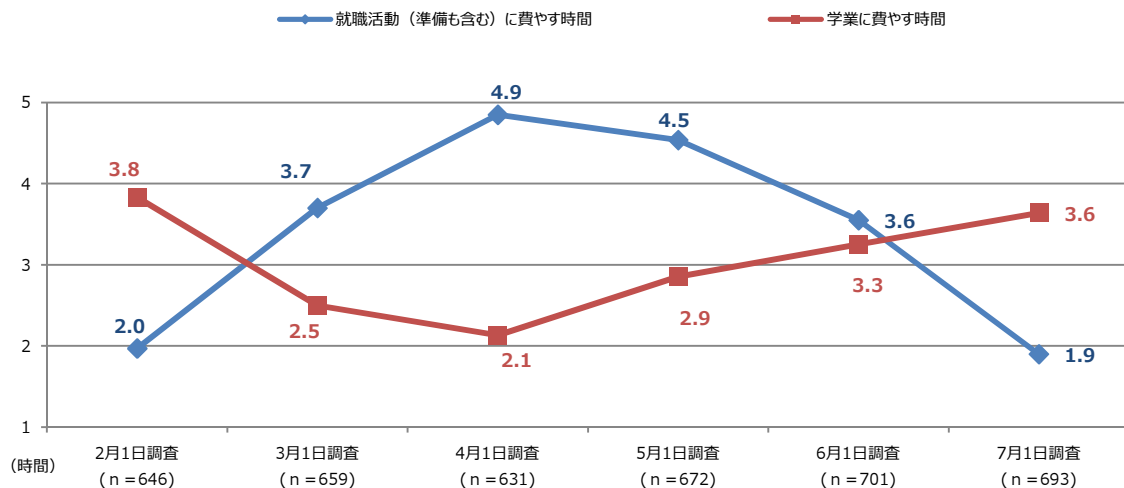
【図4.1】1日の活動時間／平均



【図4.2】1日の活動時間／平均：文理別



【図4.3】1日の活動時間の推移／平均



会社説明会参加回数

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、7月1日までに参加した会社説明会の回数の合計を聞いた。結果は、「40回以上」が24.0%と最も多く、続いて「10～19回」が22.4%、「20～29回」20.6%となった。

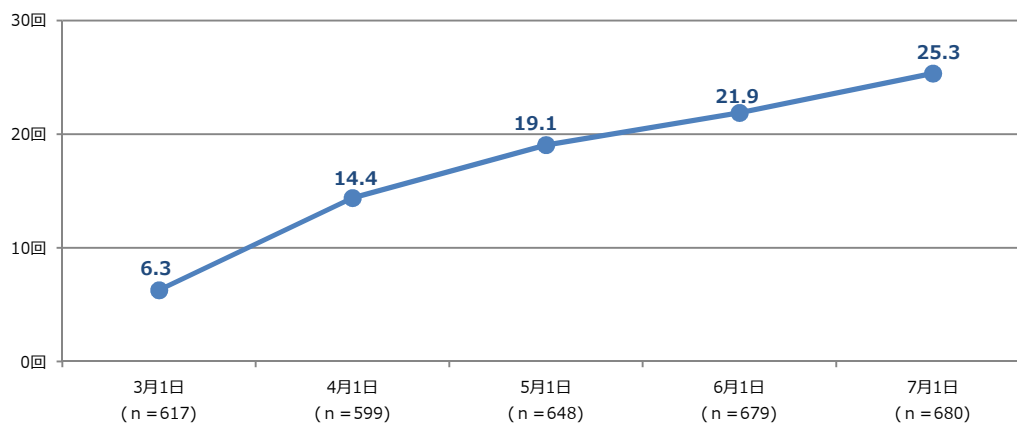
平均回数は25.3回となった。男女別では女性の、文理別では文系の、企業規模に対する志向別では大企業志向の学生の参加回数が大幅に多くなっている。また、内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生の方が「内定なし」の学生に比べ、より多くの会社説明会に参加している傾向がある（表5）。

平均回数の推移を見ると、6月1日調査から3.4回増加しており、前回よりも増加幅がやや大きくなっている（図5）。

【表5】会社説明会参加回数：属性別

		0回	10回	10回	20回	30回	40回以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(回)
全体 (n = 680)		1.8	15.6	22.4	20.6	15.7	24.0	25.3
男女別	男性 (n = 255)	1.6	20.8	25.1	18.8	13.3	20.4	22.5
	女性 (n = 425)	1.9	12.5	20.7	21.6	17.2	26.1	27.1
文理別	文系 (n = 497)	0.8	12.5	20.1	21.3	16.5	28.8	28.2
	理系 (n = 183)	4.4	24.0	28.4	18.6	13.7	10.9	17.7
対する企業規模に	大企業志向 (n = 325)	1.2	12.9	19.7	21.5	14.8	29.8	28.1
	中小企業志向 (n = 197)	2.0	15.7	26.9	20.3	16.8	18.3	23.2
	企業の規模は全く意識していない (n = 158)	2.5	20.9	22.2	19.0	16.5	19.0	22.3
内定獲得状況別	内定あり (n = 502)	1.2	12.4	22.1	21.3	15.9	27.1	27.3
	内定なし (n = 178)	3.4	24.7	23.0	18.5	15.2	15.2	19.8

【図5】会社説明会参加回数の推移／平均



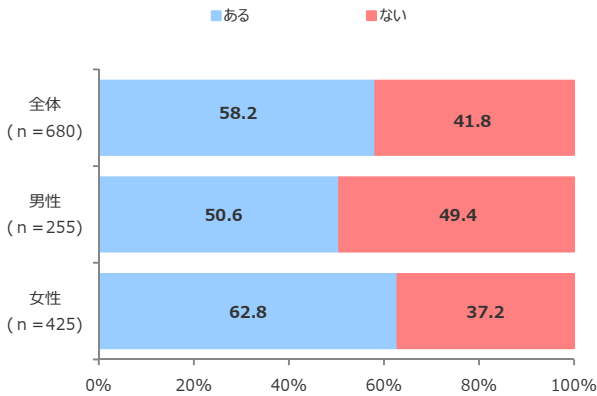
会社説明会の欠席

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、参加申込をしていた会社説明会を欠席したことがあるかを聞いた。欠席したことが「ある」と回答した学生は58.2%となり、男性では50.6%、女性では62.8%と、女性の方が割合が高い（図6.1）。

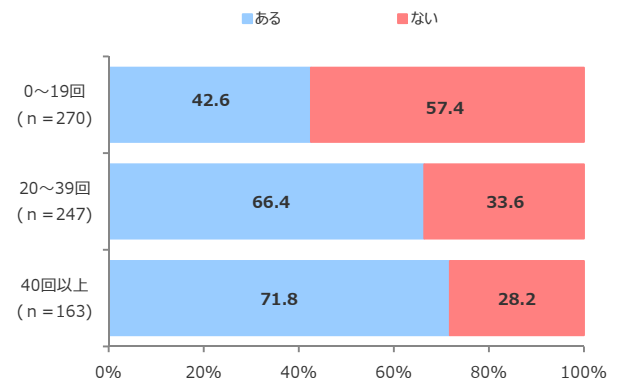
「5 会社説明会参加回数」との関係を見ると、参加回数の多い学生ほど、欠席した経験がある者の割合が高くなっていた（図6.2）。

また、欠席経験が「ある」と回答した学生に、その理由を聞いた。「元々、志望度が高くなかったため」が45.2%で最多となり、次いで「就職活動の他の予定（説明会や選考など）と重なったため」43.2%、「行くのが面倒になったため」40.4%となっている。多くの会社説明会に参加していた学生ほど欠席経験があったことを踏まえると、とりえず多くの予定を入れたものの、開催日が近づく頃にはスケジュール管理がうまくいっていなかったり、モチベーションが下がってしまう学生もいるようだ（表6）。

【図6.1】参加申込をしていた会社説明会の欠席有無
：男女別



【図6.2】参加申込をしていた会社説明会の欠席有無
：会社説明会の参加回数別



【表6】参加申込をしていた会社説明会を欠席した理由：男女別、参加回数別

		元々、志望度が高くなかったため	就職活動の他の予定（説明会や選考など）と重なったため	行くのが面倒になったため	体調不良だったため	遅刻しそうだったため	就職活動を終了することにしたため	就職活動以外の予定（学業、アルバイトなど）と重なったため	予定を忘れていたため	その他
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n = 396)		45.2	43.2	40.4	24.7	18.2	17.4	11.6	9.3	1.8
男女別	男性 (n = 129)	48.8	42.6	34.1	20.9	14.0	10.9	8.5	8.5	0.0
	女性 (n = 267)	43.4	43.4	43.4	26.6	20.2	20.6	13.1	9.7	2.6
参加社説明会回数別	0~19回 (n = 115)	36.5	33.9	40.0	12.2	14.8	12.2	9.6	11.3	1.7
	20~39回 (n = 164)	46.3	42.7	40.2	24.4	15.2	17.7	12.8	4.3	2.4
	40回以上 (n = 117)	52.1	53.0	41.0	37.6	25.6	22.2	12.0	14.5	0.9

<複数回答>

応募企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、7月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」が最も多く、28.5%を占めた。次いで「1～9社」21.1%、「20～29社」19.9%となっている。

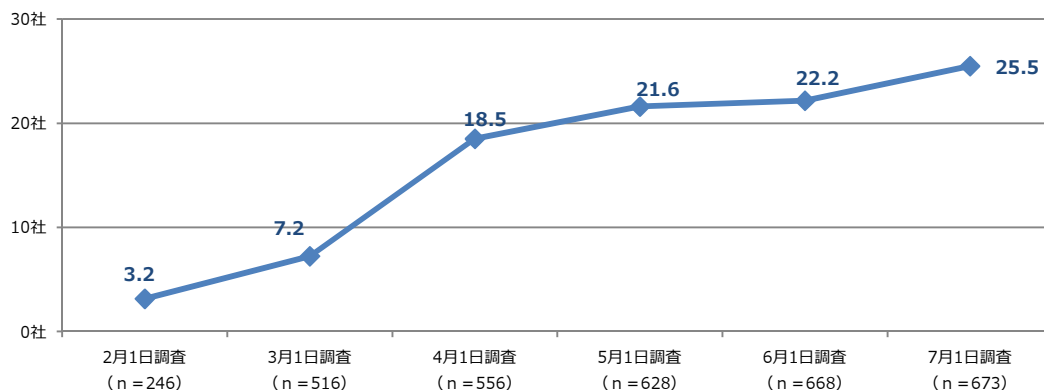
平均社数は25.5社となり、男性よりも女性、理系よりも文系、中小企業志向や企業規模を意識していない学生よりも大企業志向の学生の方が、応募企業数が多い。また、「内定あり」の学生は、「内定なし」の学生よりも応募企業数が多くなっており、積極的に活動している様子がうかがえる（表7）。

平均社数の推移を見ると、6月1日調査の22.2社から3.3社増加し、増加幅がやや上向きに転じた。選考活動解禁日の6月1日以降、中小企業など、動き出しが遅い企業が採用活動を開始したこと、また内定を獲得できなかった学生がリストスタートし始めたことなども影響しているようだ（図7）。

【表7】選考に応募した企業数：属性別

		0社	1～9社	10～19社	20～29社	30社以上	平均	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)	
全体 (n = 673)		0.3	21.1	28.5	19.9	16.9	13.2	25.5
男女別	男性 (n = 250)	0.0	25.6	29.2	18.4	18.4	8.4	22.3
	女性 (n = 423)	0.5	18.4	28.1	20.8	16.1	16.1	27.4
文理別	文系 (n = 494)	0.2	17.8	27.7	21.5	18.0	14.8	27.8
	理系 (n = 179)	0.6	30.2	30.7	15.6	14.0	8.9	19.2
対する企業規模に	大企業志向 (n = 323)	0.0	13.6	29.4	19.5	23.2	14.2	27.0
	中小企業志向 (n = 195)	0.0	31.3	27.2	19.0	8.7	13.8	25.4
	企業の規模は全く意識していない (n = 155)	1.3	23.9	28.4	21.9	14.2	10.3	22.4
内定獲得状況別	内定あり (n = 502)	0.0	19.1	29.1	19.5	18.1	14.1	26.6
	内定なし (n = 171)	1.2	26.9	26.9	21.1	13.5	10.5	22.1

【図7】選考に応募した企業数の推移／平均



エントリーシート・履歴書提出企業数

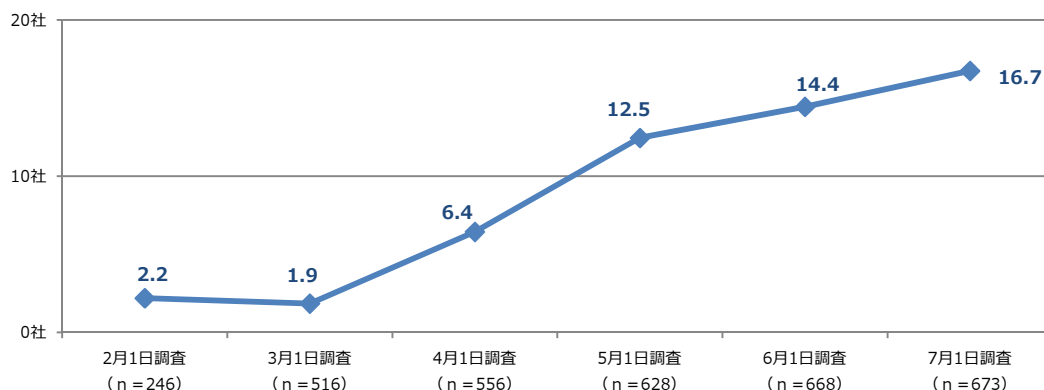
「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、7月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く33.0%、次いで「20～29社」19.6%、「5～9社」と「30社以上」が17.7%となっている（表8）。

平均社数は16.7社だった。推移を見ると、6月1日調査の14.4社から2.3社増加している。5月1日調査から6月1日調査の増加幅（1.9社）よりもやや大きくなっており、応募企業数の増加に伴ってエントリーシート・履歴書提出企業数も若干の増加傾向にあるようだ（図8）。

【表8】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

		0社	1～4社	5～9社	10～19社	20～29社	30社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
全体 (n=673)		0.4	11.6	17.7	33.0	19.6	17.7	16.7
男女別	男性 (n=250)	0.0	15.6	17.6	34.0	17.6	15.2	15.6
	女性 (n=423)	0.7	9.2	17.7	32.4	20.8	19.1	17.4
文理別	文系 (n=494)	0.2	8.9	16.4	34.4	21.1	19.0	17.7
	理系 (n=179)	1.1	19.0	21.2	29.1	15.6	14.0	14.0
対する企業規模に志向別	大企業志向 (n=323)	0.0	8.0	13.3	31.9	25.7	21.1	18.9
	中小企業志向 (n=195)	0.0	14.4	24.1	34.4	12.8	14.4	14.8
	企業の規模は全く意識していない (n=155)	1.9	15.5	18.7	33.5	15.5	14.8	14.6
状況別	内定あり (n=502)	0.2	8.6	18.7	33.7	19.9	18.9	17.4
	内定なし (n=171)	1.2	20.5	14.6	31.0	18.7	14.0	14.7

【図8】エントリーシート・履歴書提出企業数の推移／平均



面接選考企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、7月1日までに面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「10～19社」35.1%、「5～9社」24.7%となっている。

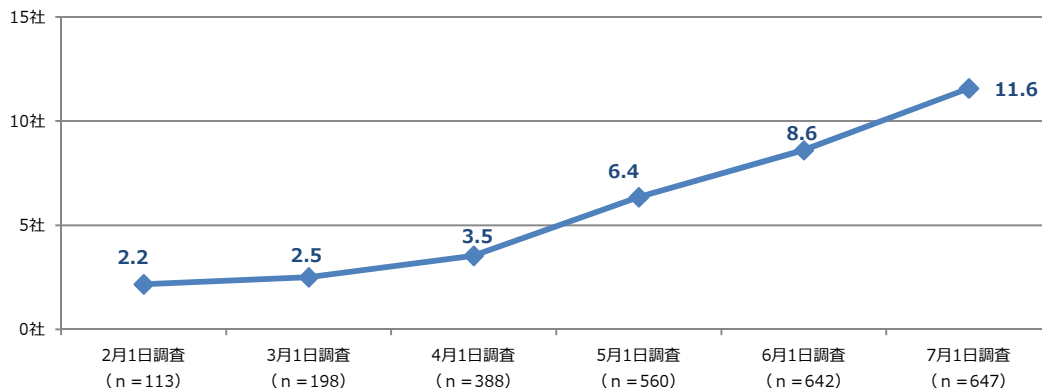
平均社数を属性別に見ると、男女別では大きな差はなく、文理別では文系の方が、企業規模に対する志向別では、大企業志向の学生の方が平均社数が多い傾向にある。また、「内定あり」の学生は、「内定なし」の学生よりも平均社数が多い（表9）。

平均社数の推移を見ると、6月1日調査より3.0社増加し、11.6社となった。平均社数は、4月1日調査以降毎回2～3社のペースで増加しており、引き続き増加傾向が見られる（図9.1）。

【表9】面接選考企業数：属性別

		0社	1～4社	5～9社	10～19社	20社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
全体 (n=647)		0.6	19.8	24.7	35.1	19.8	11.6
男女別	男性 (n=239)	1.3	21.3	25.1	31.4	20.9	11.4
	女性 (n=408)	0.2	18.9	24.5	37.3	19.1	11.7
文理別	文系 (n=477)	0.6	16.8	22.2	37.7	22.6	12.6
	理系 (n=170)	0.6	28.2	31.8	27.6	11.8	8.7
対する企業規模に	大企業志向 (n=314)	1.3	14.0	21.0	39.8	23.9	12.9
	中小企業志向 (n=188)	0.0	26.6	26.6	30.9	16.0	10.4
	企業の規模は全く意識していない (n=145)	0.0	23.4	30.3	30.3	15.9	10.3
内定獲得状況別	内定あり (n=502)	0.0	19.1	24.1	35.9	20.9	12.0
	内定なし (n=145)	2.8	22.1	26.9	32.4	15.9	10.0

【図9.1】面接選考企業数の推移／平均

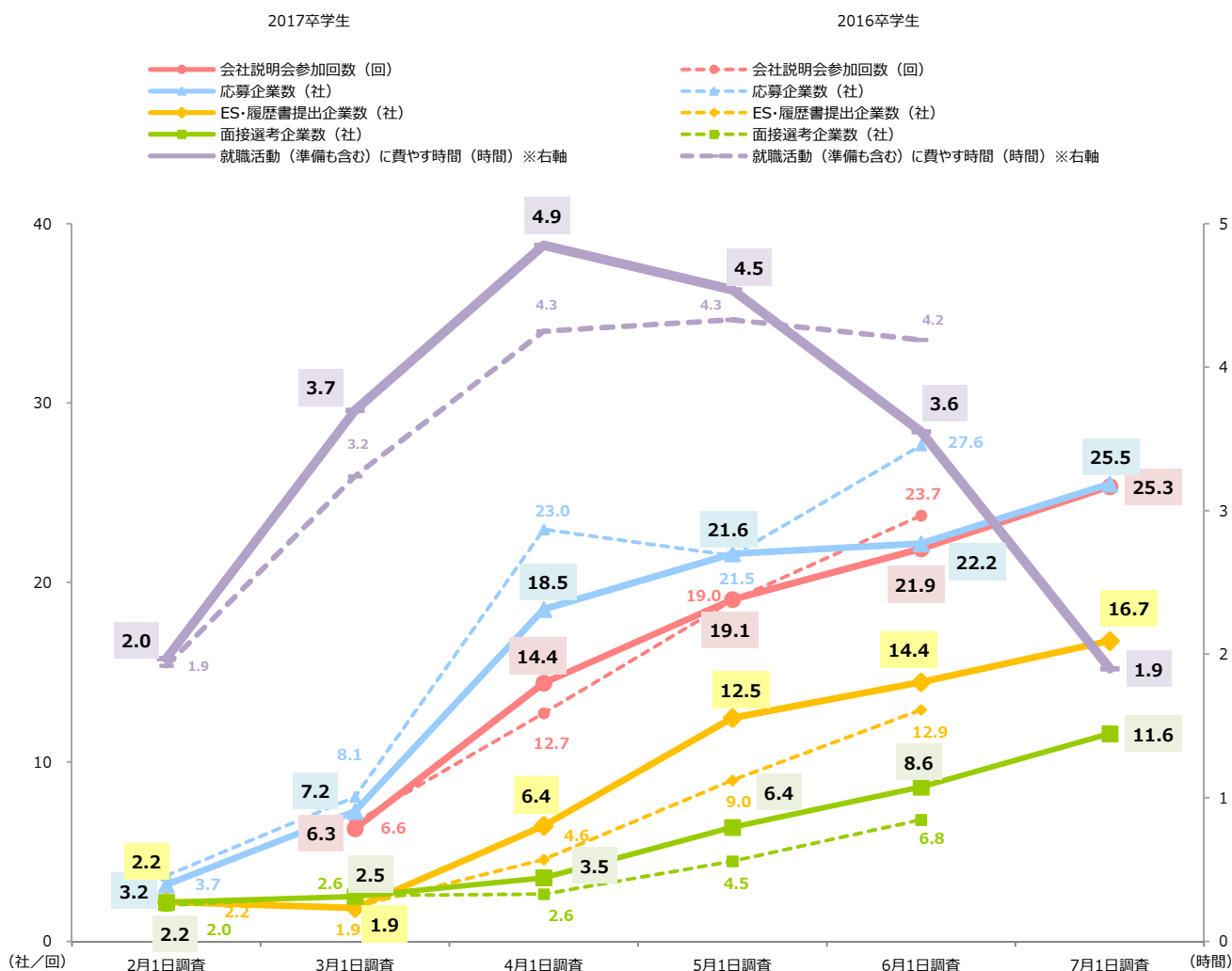


「4 1日の活動時間」から「9 面接選考企業数」までの結果を合わせて、各値の平均値から、学生の活動状況の推移を見た。同時に、前年の調査（2016卒学生対象）との比較も行なった。

2017卒学生の調査を見ると、会社説明会参加回数と応募企業数は、ほぼ同程度となっており、概ね応募予定企業の説明会に参加していることが推測できる。また、広報活動が解禁された3月1日から4月1日までの期間には「会社説明会参加回数」「応募企業数」「エントリーシート・履歴書提出企業数」が、大幅に増えていた。会社説明会は、情報収集や応募先選定のために多くの企業に足を運ぶことになり、説明会そのものの時間に加え、その移動時間もかかる。さらに、応募書類の作成のために自己分析や志望動機等を練る必要があるため、就職活動のスタート段階であるこの時期が、学生にとって特に忙しい時期だったことがうかがえる。実際、「就職活動に費やす時間」も、最も多い時期となっている。

2016卒学生の活動状況の推移と比較すると、会社説明会参加回数は2016卒学生と同程度であるものの、応募企業数はやや少ない値で推移しているようだ。半面、「面接選考企業数」は前年よりも多い傾向があり、2016卒学生よりも効率よく選考が進んでいる印象を受ける。また、2017卒学生の「就職活動に費やす時間」は、ピーク時こそ4.9時間と2016卒学生よりも多いものの、すぐに減少に転じた。その減少幅も加速度的に大きくなっており、2017卒学生の就職活動は前年に比べると「短期決戦」と言えそうだ（図9.2）。

【図9.2】学生の活動状況の推移：前年度との比較



n 数	2016年					2017年					
	2月1日調査	3月1日調査	4月1日調査	5月1日調査	6月1日調査	2月1日調査	3月1日調査	4月1日調査	5月1日調査	6月1日調査	7月1日調査
会社説明会参加回数	-	326	416	453	430	-	617	599	648	679	680
応募企業数	261	480	551	619	593	246	516	556	628	668	673
エントリーシート・履歴書提出企業数	261	480	551	619	593	246	516	556	628	668	673
面接選考企業数	113	150	315	495	531	113	198	388	560	642	647
就職活動（準備も含む）に費やす時間	637	632	605	659	623	646	659	631	672	701	693

現在選考中の企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、かつ活動を継続している学生に対し、7月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中であり最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。最も多かった回答は、「1～2社」で40.4%、次点は「3～4社」24.4%となっている。また、現在選考中の企業は「0社」と回答した学生も12.7%存在している。6月1日調査と比較をすると、「0社」「1～2社」と回答した学生が増加する一方、「5～9社」「10社以上」と回答した学生は、大幅に減少している。6月1日の選考活動解禁から1カ月間で、選考が一気に進行したことがうかがえる結果となった。

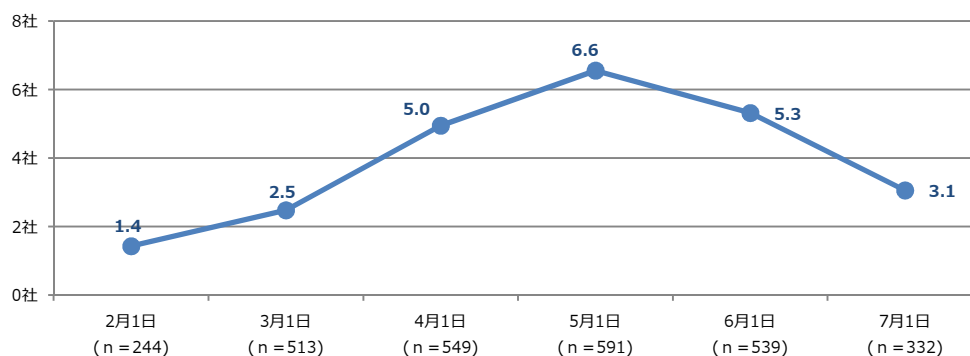
平均社数は、3.1社だった。属性別に見ると、男女別と企業規模に対する志向別では差はあまりないものの、文理別では文系で、現在選考中の企業数が多くなっている（表10）。

平均社数の推移を見ると、6月1日調査から引き続き減少し、その減少幅も大きくなった。6月1日の選考活動解禁で出される可否結果を期待し応募を控えていた学生や、既に内定を獲得しているため、より選別した企業への応募に絞る学生等がいることが推測される（図10）。

【表10】現在選考中の企業数：属性別

		0社	1～2社	3～4社	5～9社	10社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
全体 2016/7/1 (n=332)		12.7	40.4	24.4	16.3	6.3	3.1
全体 2016/6/1 (n=539)		5.9	25.4	21.2	30.1	17.4	5.3
男女別	男性 (n=121)	11.6	42.1	21.5	14.9	9.9	3.2
	女性 (n=211)	13.3	39.3	26.1	17.1	4.3	3.0
文理別	文系 (n=261)	12.3	39.1	24.9	17.2	6.5	3.2
	理系 (n=71)	14.1	45.1	22.5	12.7	5.6	2.6
対する企業規模に志向別	大企業志向 (n=133)	9.0	38.3	29.3	16.5	6.8	3.1
	中小企業志向 (n=110)	15.5	43.6	16.4	18.2	6.4	3.1
	企業の規模は全く意識していない (n=89)	14.6	39.3	27.0	13.5	5.6	2.9
内定獲得状況別	内定あり (n=161)	11.2	44.7	28.0	11.8	4.3	2.7
	内定なし (n=171)	14.0	36.3	21.1	20.5	8.2	3.4

【図10】現在選考中の企業数の推移／平均

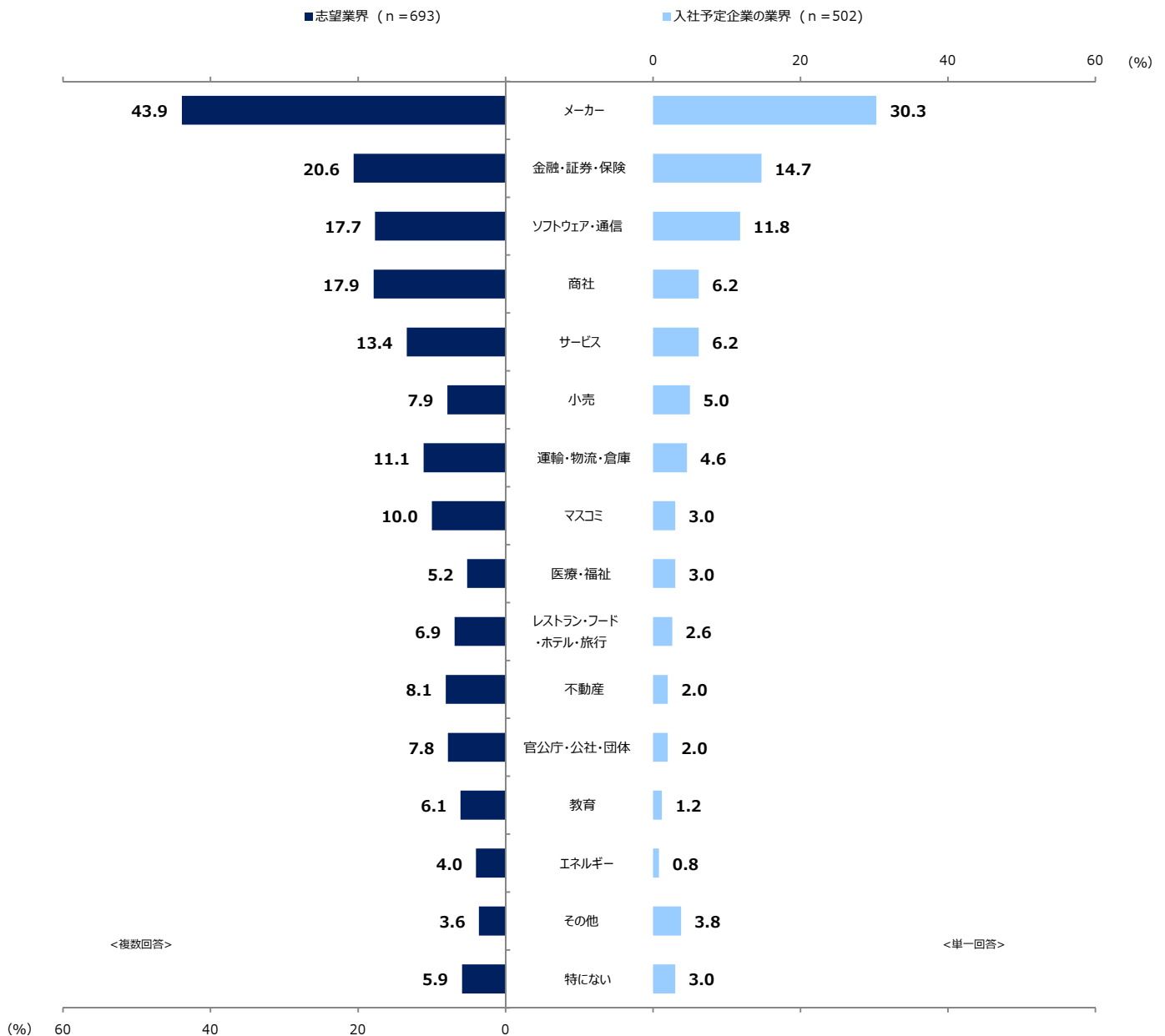


志望業界・ 入社予定企業の業界

学生に、7月1日時点の志望業界について聞くと、「メーカー」が突出して多く、43.9%となった。次いで、「金融・証券・保険」20.6%、「商社」17.9%、「ソフトウェア・通信」17.7%となった。

また、「2 内定獲得状況」において、7月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業の業界を聞いた。結果は、「メーカー」30.3%、「金融・証券・保険」14.7%、「ソフトウェア・通信」11.8%の順となっている（図11）。

【図11】 志望している業界はどこか／入社予定企業の業界はどこか

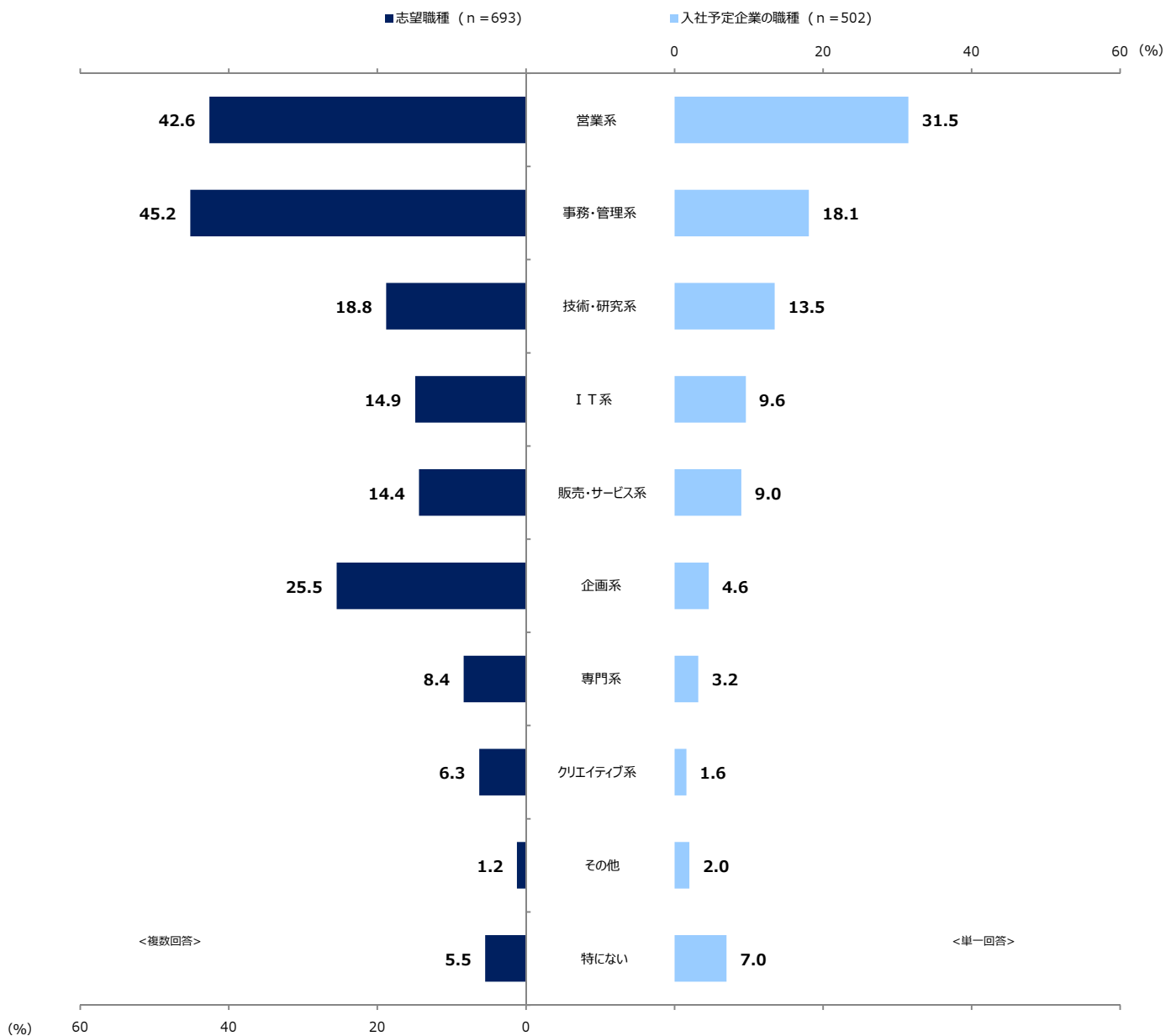


志望職種・ 入社予定企業の職種

学生に、7月1日時点の志望職種について聞くと、「事務・管理系」が45.2%と最も多く、続いて「営業系」42.6%、「企画系」25.5%、「技術・研究系」18.8%の順となった。

また、「2 内定獲得状況」において、7月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業で従事する職種を聞いた。結果は、「営業系」31.5%、「事務・管理系」18.1%、「技術・研究系」13.5%となっている（図12）。

【図12】 志望している職種は何か／入社予定企業で従事する職種は何か



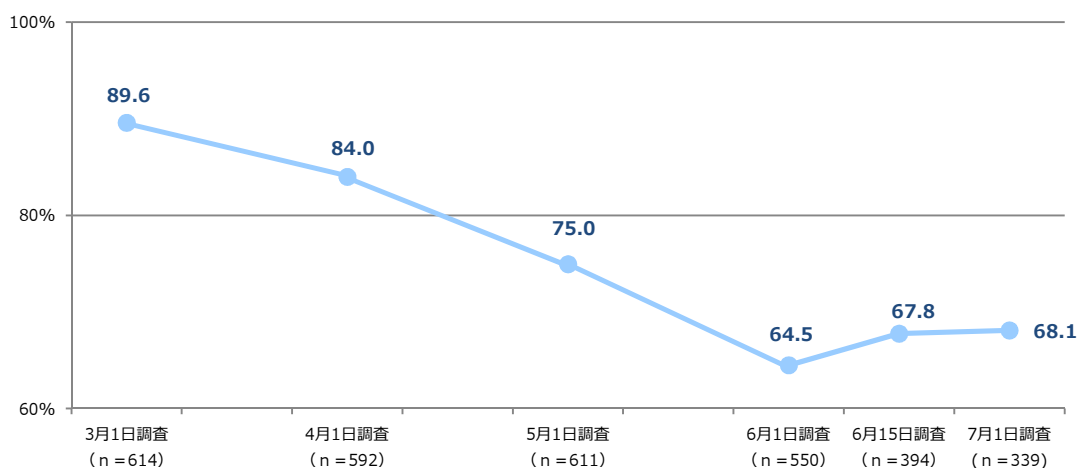
企業への新たな応募予定（7月）

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、7月の就職活動において、新たに企業に応募する予定があるかを聞いた。「ある」と回答した学生の割合は、68.1%となり、15日前に行なった6月15日調査から大きな変化はなく、ほぼ横ばいとなった。6月に行なわれた選考で、満足のいく結果が得られず、新たな応募先を開拓せざるを得ない学生が一定数いるようだ（図13.1）。

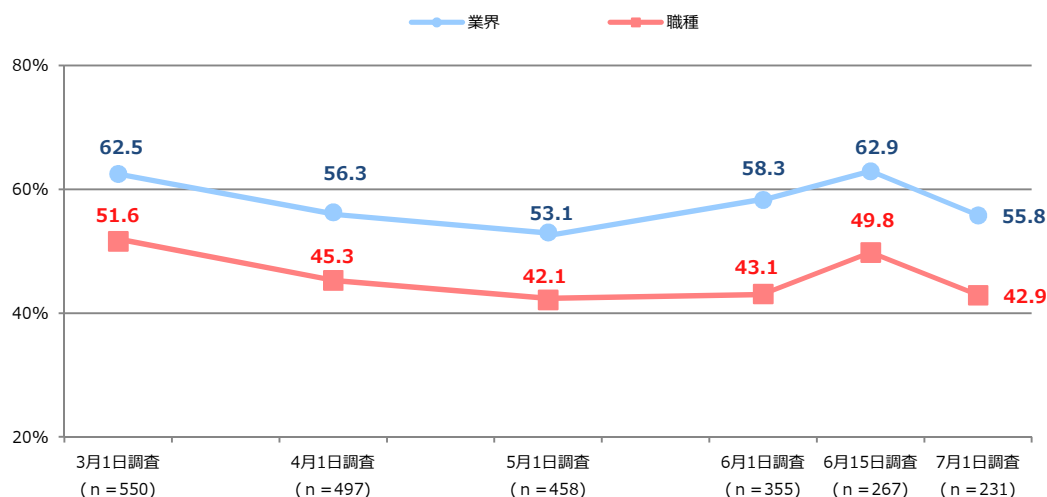
さらに、新たに応募する予定が「ある」と回答した学生に、今まで興味がなかった“業界”や、興味がなかった“職種”も応募しようと考えているかを聞いた。「（応募しよう）と考えている」と回答した学生の割合は、“業界”では55.8%、“職種”では42.9%となった。新たな企業に目を向ける際には、“職種”よりも、“業界”の視野を広げる学生の方が多い。

また、今までとは異なる“業界”や“職種”に応募する意向の学生は、6月1日調査から増加傾向にあったが、7月1日時点では再び減少に転じた（図13.2）。

【図13.1】 今月、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：時系列



【図13.2】 今まで興味がなかった“業界”や“職種”も応募しようと考えている学生の割合：時系列



妥協・譲歩する条件

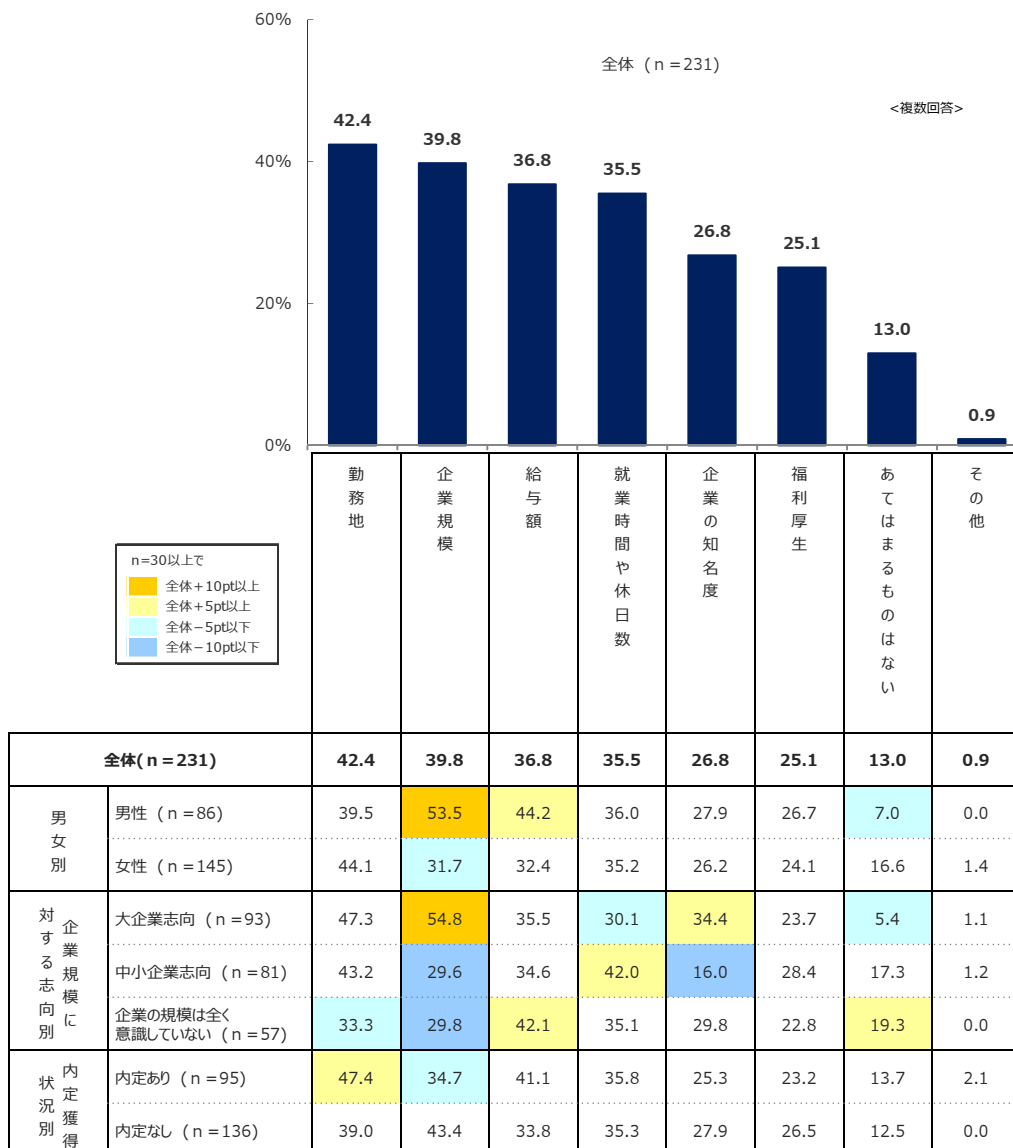
「13 企業への新たな応募予定（7月）」において、7月、新たに企業に応募する予定が「ある」と回答した学生に、その際に今まで希望していた条件から妥協、もしくは譲歩しようと考えているものはあるか聞いた。回答が多かった順に、「勤務地」42.4%、「企業規模」39.8%、「給与額」36.8%、「就業時間や休日数」35.5%となっている。

男女別では、男性は女性よりも大企業志向者の割合が高い（「3 企業規模に対する志向」）ことが影響してか、「企業規模」へのこだわりが強かったようだ。これを妥協・譲歩とした者が53.5%となり、女性よりも20ポイント以上高くなっていた。「給与額」も、女性よりも回答割合が高く、当初はこだわっていたことがうかがえる。

企業規模に対する志向別に見ると、大企業志向の学生は「企業規模」や「企業の知名度」を妥協・譲歩する者の割合が高くなっていた。6月に入り、大手企業を中心に内定が出始めたものの、納得のいく結果が得られなかった学生も一定数いると思われ、視野を広げて就職活動を行なう学生が多いようだ。

内定獲得状況別に見ると、既に「内定あり」の学生は「内定なし」の学生よりも「勤務地」の回答割合が高くなっていた（図14）。

【図14】 今まで希望していた条件から妥協、譲歩しようと考えているもの

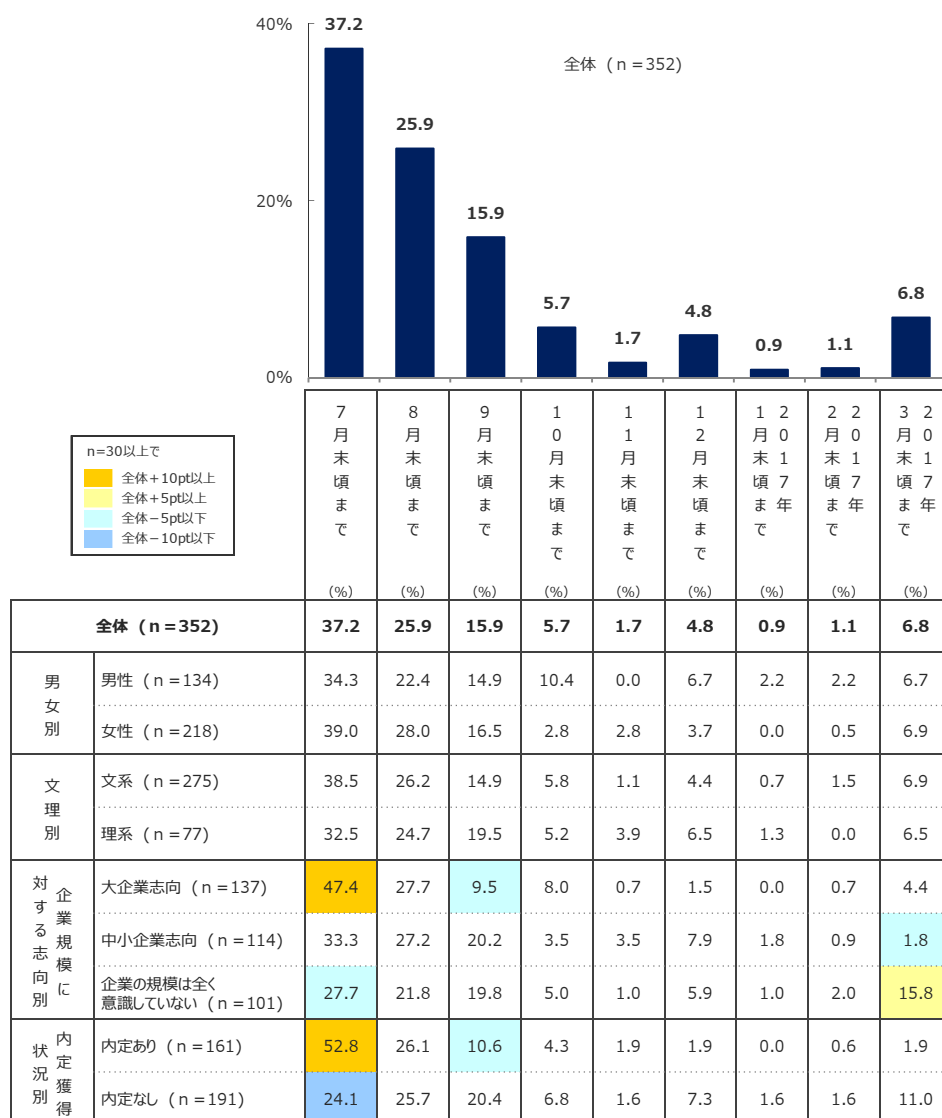


就職活動終了見込み時期

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」以外の回答をした学生に対し、現在までの就職活動の進捗を踏まえて、いつ頃までに就職活動を終わらせたいと考えているかを聞いた。最も多くの回答を集めたのは「7月末頃まで」で37.2%だった。次いで、「8月末頃まで」が25.9%、「9月末頃まで」が15.9%と続き、7～8月のうちに就職活動を終わらせたい学生が6割を超えている。

また、内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生の52.8%は7月中旬に就職活動を終わらせたいとしている（図15）。

【図15】いつ頃までに就職活動を終わらせたいと考えているか



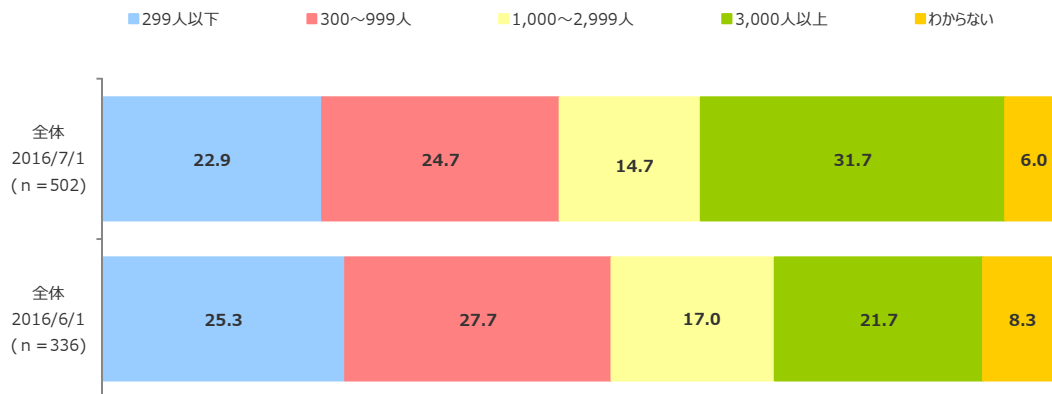
入社予定企業の従業員規模

「2 内定獲得状況」において、7月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業（複数内定獲得者は、現時点で最も入社志望度が高い企業）の従業員規模を聞いた。「3,000人以上」の企業に入社予定の学生が31.7%で最多となっている。6月1日調査と比較すると、「3,000人以上」規模の企業に入社予定の学生は、21.7%から10.0ポイント増加していた。6月1日の選考活動解禁を受けて、特に大手企業が内定を多く出したことがうかがえる（図16.1）。

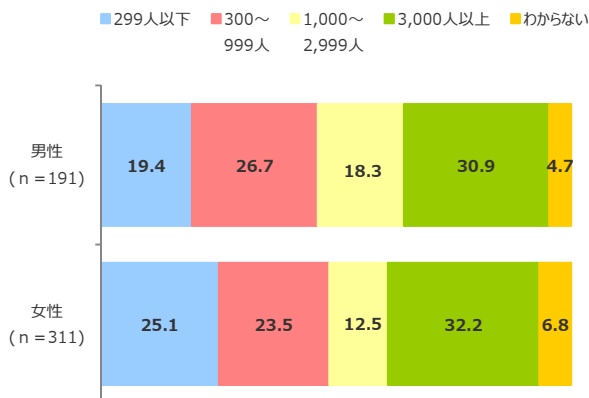
男女別に見ると、女性は男性よりも「299人以下」規模の企業に入社予定である学生の割合が高い（図16.2）。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生の49.8%は「3,000人以上」の企業に入社予定である。反面、3割弱の学生は「299人以下」もしくは「300～999人以下」の企業に入社予定であり、自身の志向と入社予定企業の規模が合致していない（図16.3）。

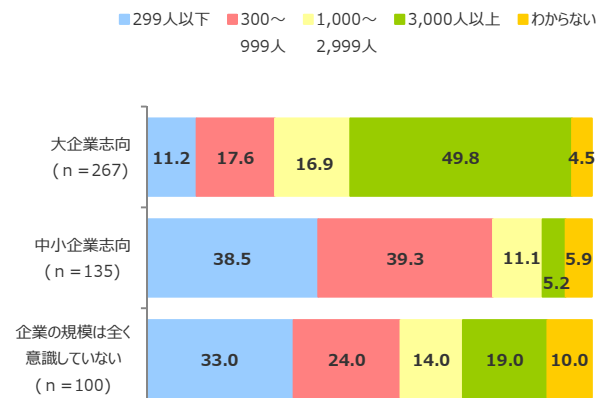
【図16.1】入社予定企業の従業員規模



【図16.2】入社予定企業の従業員規模：男女別



【図16.3】入社予定企業の従業員規模：企業規模に対する志向別

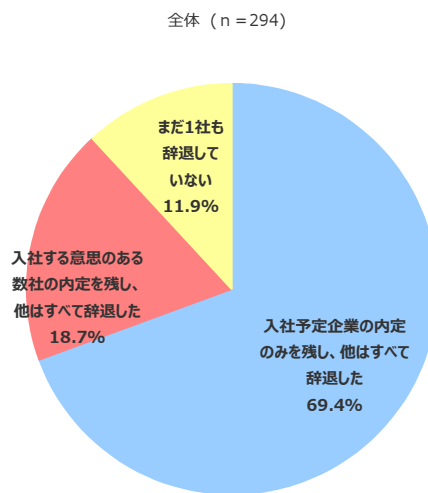


内定辞退の状況

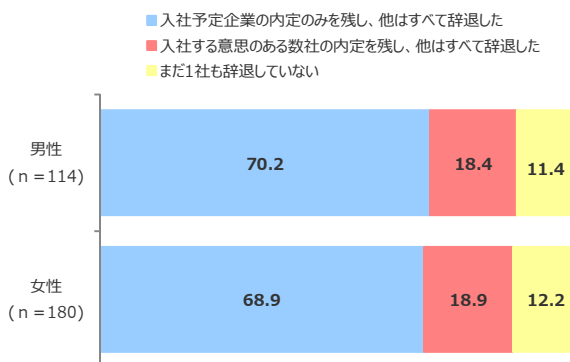
「2 内定獲得状況」において、7月1日時点で2社以上の内定を獲得している学生に対し、内定辞退の状況を聞いた。69.4%の学生が「入社予定企業の内定のみを残し、他はすべて辞退した」と回答した（図17.1）。

属性別で見ると、男女で傾向の違いは見られない（図17.2）。文理別では、「入社予定企業の内定のみを残し、他はすべて辞退した」学生の割合が、文系では67.0%、理系では75.6%と差が生じていた。理系の学生の方が、早い段階から入社予定の企業を決め、1社に絞る傾向があるようだ（図17.3）。

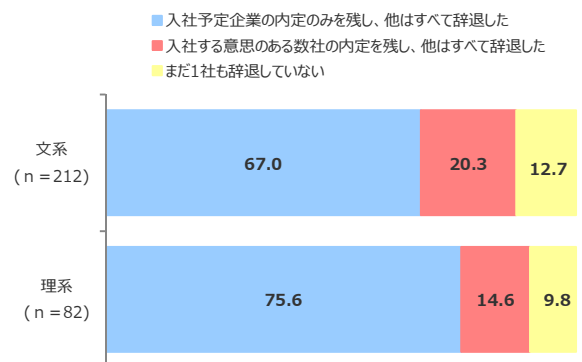
【図17.1】内定辞退の状況



【図17.2】内定辞退の状況：男女別



【図17.3】内定辞退の状況：文理別



入社予定企業の決定理由

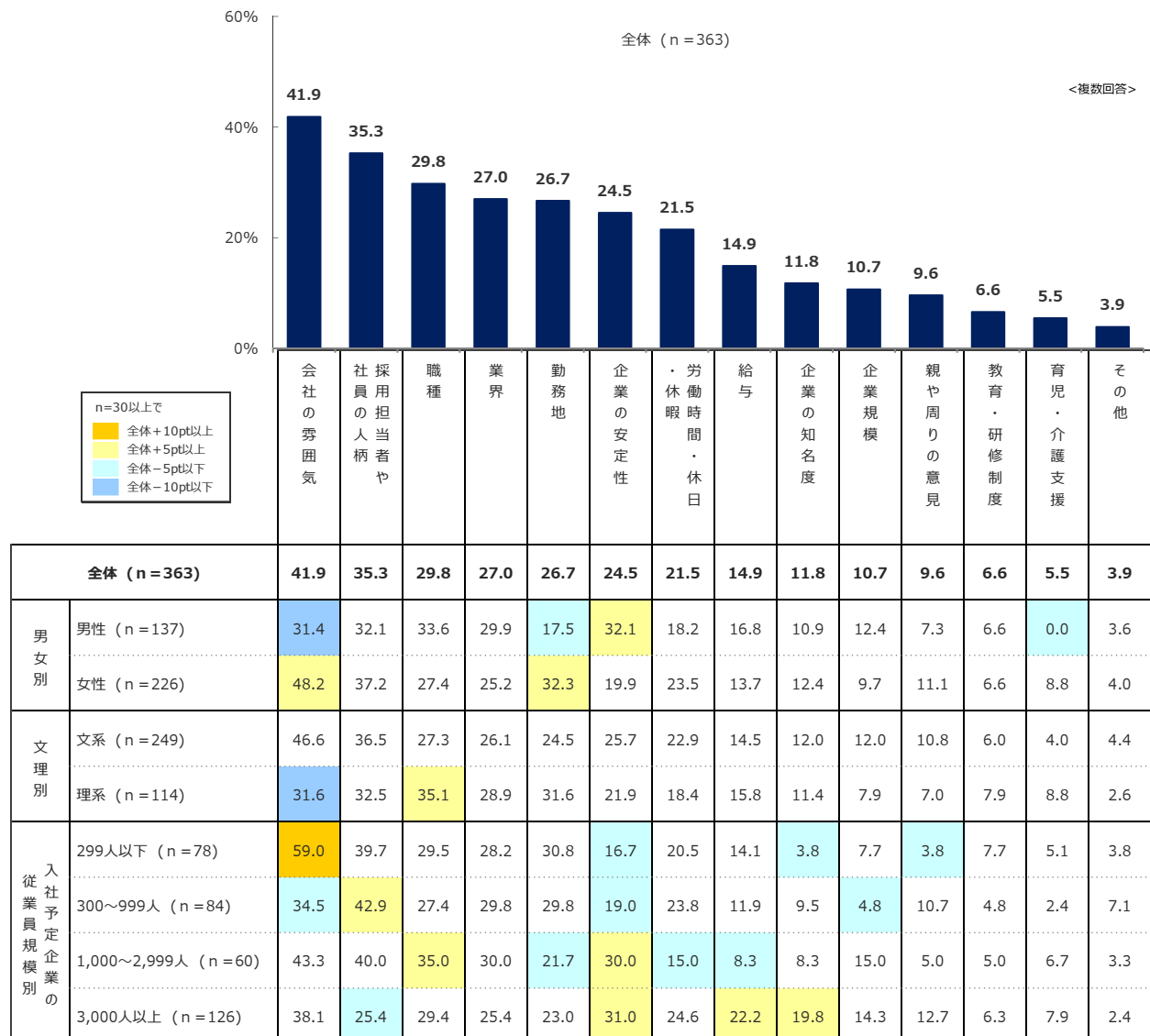
「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得/就活終了段階」を回答した学生、もしくは「17 内定辞退の状況」において「入社予定企業の内定のみを残し、他はすべて辞退した」学生に対し、入社予定企業に入社を決めた理由を3つまで聞いた。最も回答を集めたのは「会社の雰囲気」で、41.9%となっている。「採用担当者や社員の人柄」も35.3%で次点に挙がっており、「職種」(29.8%)、「業界」(27.0%)、「勤務地」(26.7%)よりも、会社や職場が醸し出す“雰囲気”や“ヒト”の魅力が決め手になることが多いようだ。

属性別に見ると、女性は「会社の雰囲気」をより重視している傾向がある。また、女性は「勤務地」が3位(男性では7位)、男性は「企業の安定性」が2位(女性では7位)となっており、男女の志向の違いが見て取れる。

文理別で見ると、理系は大学での研究内容に結びつく場合も多いのか、「職種」が1位となっている。

入社予定企業の従業員規模別に見ると、小規模、中規模の企業に入社予定の学生では、入社の決め手が「会社の雰囲気」や「採用担当者や社員の人柄」だとする割合が高い傾向にある。一方、大規模の企業へ入社予定の学生では、「企業の安定性」「給与」「企業の知名度」「企業規模」等が、小規模、中規模の企業に入社予定の学生よりも高くなっている(図18)。

【図18】入社予定企業に決定した理由



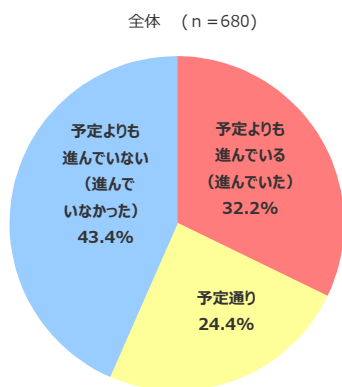
就職活動の進捗感

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、7月1日までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか（就職活動を終了している学生は、終了時期が予定と比べてどうだったか）を聞いた。結果は、「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と回答した学生が最も多く43.4%、「予定よりも進んでいる（進んでいた）」32.2%、「予定通り」24.4%となった。「予定よりも進んでいる（進んでいた）」と「予定通り」を合わせた56.6%の学生が、自身の就職活動の進捗を順調だと感じている（図19.1）。

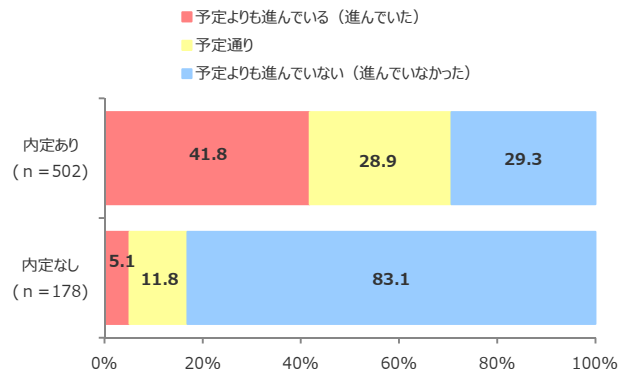
内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生では、41.8%が「予定よりも進んでいる（進んでいた）」、28.9%が「予定通り」と回答しており、7割以上の学生が順調さを感じている。一方、「内定なし」の学生では、83.1%が「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と回答しており、この時期になっても内定を得られないことへの焦燥感があるようだ（図19.2）。

また、「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」と回答した学生に、その原因を聞いたところ、「準備が不十分だった」が62.7%で最多となっている（図19.3）。

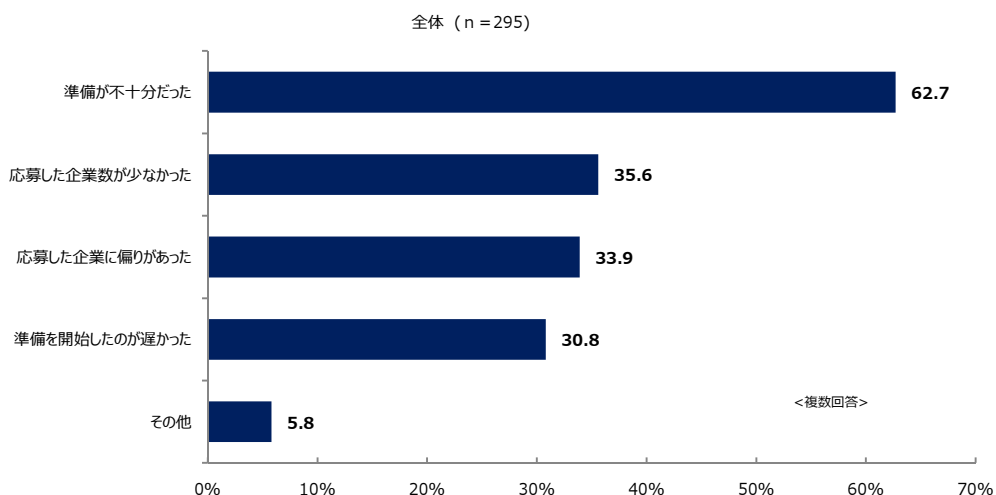
【図19.1】 現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか



【図19.2】 現在までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか：内定獲得状況別



【図19.3】 「予定よりも進んでいない (進んでいなかった)」原因は何だと思うか



不十分だった準備

「19 就職活動の進捗感」において、自身の就職活動が「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」理由として、「準備が不十分だった」「準備を開始したのが遅かった」を回答した学生に、“準備をしようと思ったが、不十分だったもの・取り組みなかったもの”は何かを聞いた。多かった回答は、「個人面接対策」54.9%、「自己分析」51.6%、「企業・業界研究」51.6%となり、いずれも5割を超えている。“自分自身”や“志望企業”についての理解が足りず、結果、“個人面接”でうまく自分をアピールできない、という様子がうかがえる結果となった（図20）。

【図20】 準備をしようと思ったが、不十分だったもの・取り組みなかったもの

